



モリタ ゴウシ  
 こども課 森田 豪志 主任補  
 (2016年入庁)

1993年生まれ、帯広市出身。

2016年～ 保護課(当時)

2020年～ 現所属

2023年3月～8月 育児休業取得

## Q1 所属部署の主な業務内容

私の所属するこども課では、公立保育所の運営を始め、保育所・幼稚園や各種手当に関する事など、子どもに係る業務を全般的に所轄しています。

## Q2 育児休業取得時の雰囲気や、周りの反応

皆さんからお祝いのお言葉をいただき、上司に育休の希望を伝えた際には「ぜひとも取得するべきだ!」と快く送り出していただけました。日頃から職員同士でサポートし合う体制が築けており、それも取得しやすい要因であったと思います。

## Q3 育児休業を取得してよかったこと

生まれたばかりの子どもと一緒に過ごせたことです。復職し、平日子どもと会える時間が少なくなってからは尚更そのありがたみを実感しています。また、乳児期の育児に妻と二人であたることで、夫婦ともに心身に余裕を持つことが出来ていたと感じています。

## Q4 帯広市で働くことの魅力

帯広市役所はワーク・ライフ・バランスを非常に取りやすい職場と感じています。充実した休暇制度と、それを活用しやすい風土があります。仕事も私生活も大切にしたいという方にはぜひおすすめしたい就職先です。

毎日たのしく過ごしましょう。

## Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

帯広市は都市と自然がほどよく調和している街です。近隣の3町を含め出かけるスポットは多くあり、美味しい飲食店や食材も多いことから、過ごしやすく・楽しく・美味しい、三拍子揃った素敵な市です。

## Q2 おすすめエリア・お店

市内中心地の繁華街には様々なお店が密集しており、特に夜は人が集まり賑やかになります。帯広にお住まいになれば度々出かけるエリアになると思います。

その中でもおすすめは喫茶店の「黒船」です。落ち着いた空間でリラックスには最適、コーヒーだけでなく甘くて冷たいバナナジュースは絶品です。

## Q3 休日の過ごし方・趣味

息子が生まれてからは家族で休日を過ごす時間が増えました。まだ息子は抱っこ移動ですが、妻と3人で様々な場所へ出かけています。

また、前述のとおり私生活の時間を多く確保できる職場ですので、それを活かして友人と遊んだり勉強に取り組むなど、充実した余暇を過ごせています。

